

第5回連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」

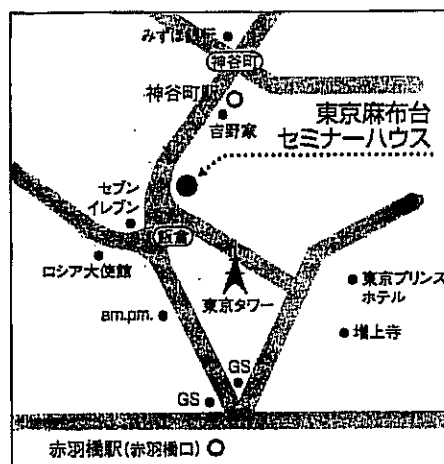
【開講あいさつ】連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」は、東京大空襲をはじめとする都市無差別爆撃の被災者の証言や当時の記録映画などを通じて、法廷での闘いとはまた異なるチャンネルで、都市空襲の恐ろしさを一般の人たちや学生など若い世代に広く知ってもらうことを主な目的にした都市空襲入門講座です。と同時に、イスラエルによるガザ地区空襲に代表されるように、現代に至っても絶え間なく続く都市空襲の連鎖を断ち切る方法はないものか。また空襲の悲惨さや被災者の心の痛みを次世代にどう伝えていけばいいのかをともに考えることを開講にあたって念願としています。

講座は2010年9月から翌年7月までの計10回（12月は休講）。毎月1回開講。空襲体験者の声を聞く5回連続のパートIに続き、パートIIは海外の作品を含め空襲の恐ろしさを描き出した優れたドキュメンタリー映画などを鑑賞、コメンテーターの背景説明をもとに、映像による”証言”から空襲の歴史をともに考える場にしよう企画しました。

日時：3月27日（日）午後1時から（開場は午後零時半）— 3F

会場：大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス・3階大研修室（港区麻布台1の11の5、電話03・5545・7789）
地下鉄・日比谷線・神谷町駅下車／1番出口。桜田通りを東京タワー方面へ徒歩5分

講師：小野静枝さん ちげ
（横浜大空襲の体験者、「横浜の空襲を記録する会」世話人）



演題：「あの日の惨状とその後の私」

【内容】1945年5月29日の横浜大空襲は、東京大空襲のB29出撃機数や焼夷弾量をともに上回り、白昼しかも短時間のうちに行われた無差別焼夷弾爆撃に特徴がある。当時、13歳の小野さんはJR東神奈川駅であの日の惨状を目撃、辛くも死を免れた。空襲体験はその後の小野さんに一連の横浜空襲の記録運動に目を開かせ、さらに空襲で深い傷を負った戦災障がい者に救援の手を差しのべる人生を歩ませた。

資料代：500円（学生・高校生300円、中学生以下は無料）

主催・都市空襲研究会 協力・東京大空襲訴訟原告団

◆連絡先 東京大空襲訴訟原告団◆

東京都墨田区押上1の33の4の102 TEL・FAX 03(3616)5531